

令和9年度 公立学校教員採用候補者選考試験問題

家 庭

1 / 9 枚中

注意 答はすべて解答用紙の解答欄に記入すること。

第1問題 家族・家庭生活について、次の問に答えよ。

問1 図1は合計特殊出生率の推移の国際比較、図2は平均初婚年齢、図3は生涯未婚率の推移である。次の(1)、(2)に答えよ。

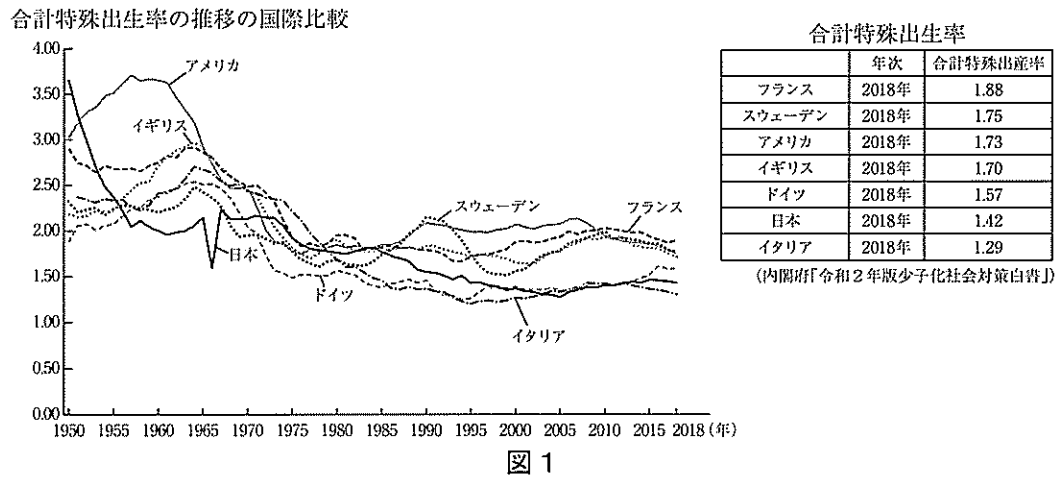


図1

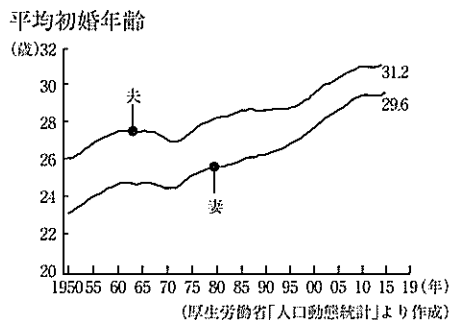


図2

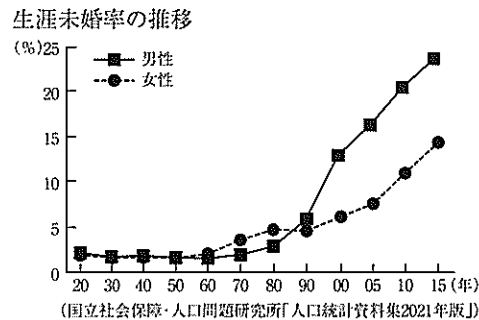


図3

(1) 図1の合計特殊出生率とは何か、簡潔に答えよ。

(2) 図1の他国に比べて我が国の数値が低下している要因について、図2・3から読み取れることを、それぞれ簡潔に答えよ。

問2 自立・家族に関する出来事や法律について、次の(1)～(3)に答えよ。

(1) 次の①～③の説明に該当する法律名を、A～Fから選び、記号で答えよ。

- ① 1999年に施行され、条文に「男女の社会における活動の選択に対して及ぼす影響をできる限り中立なものとするように配慮されなければならない」と記されている。
 - ② 2015年に施行され、地方公共団体や民間事業主に基本方針の策定を義務づけ、女性の職業生活を支援することを目的としている。
 - ③ 1986年に施行され、婚姻・出産などを理由とした不利益扱いを禁止している。
- A 育児・介護休業法 B 働き方改革関連法 C 女性活躍推進法
D 男女雇用機会均等法 E 男女共同参画社会基本法 F DV防止法

(2) 女の子はピンク、男の子は青が好きに違いないなど、性別に伴う固定概念を一般的に何というか、カタカナで答えよ。

(3) 「性別にかかわらずすべての人びとが、仕事、家庭、地域の人びととのかかわりや趣味や休息の時間などを、バランスよく行うこと」を一般的に何というか、カタカナで答えよ。

第2問題 保育について、次の問に答えよ。

問1 子どもの発達について、次の(1)～(5)に答えよ。

(1) 次の文は、子どもの発達について述べたものである。ア～ウにあてはまる語句をA～Gからそれぞれ一つ選び、記号で答えよ。

ものごとの現象のとらえ方には、子ども特有の見方や感じ方がある。3か月頃には、あお向けの状態で自分の握った手をじっと見つめるアや、3歳頃には、頭部と胴体が一つの円で構成され、円から直接手足が出ているイを描く。また、3～5歳頃には、石ころなどの無生物にも自分と同じように心や生命があると考えウがみられる。

- A 認知 B アニミズム C 逃避 D 頭足人画 E ハンドリガード
 F ネウボラ G 退行

(2) アタッチメントとは何か、簡潔に答えよ。

(3) 音の刺激などで両腕を大きく開き、抱きつこうとする原始反射を何というか、A～Dから一つ選び、記号で答えよ。

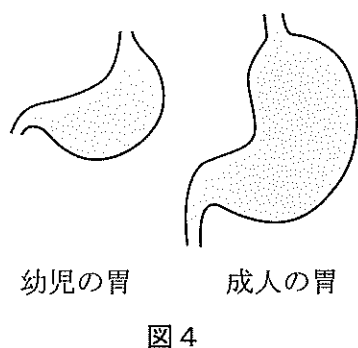
- A モロー反射 B 把握反射 C 吸てつ反射 D 自立歩行反射

(4) ①生理的黄疸、②生理的体重減少とは何か、それぞれ簡潔に答えよ。

(5) 自己および他者とのかわりに関する発達について、A～Eを発達する順序に並べ替えよ。

- A 友だち同士でルールをつくって遊ぶ
 B あやすと笑うなど社会的な微笑がみられる
 C 積み木を電車や車に見立てて走らせるなど、見立てやつもり遊びをする
 D 快の状態のときに生理的微笑がみられる
 E 人見知りをする

問2 幼児の食生活について、図4は幼児と成人の胃の大きさ、図5は3～5歳と30～49歳の食事摂取基準を示している。図4・5を参考にしつつ、幼児にとっての間食の意義を簡潔に答えよ。



年齢・性別	栄養素	エネルギー kcal	たんぱく質 g	無機質		ビタミン					脂質 %	食塩相当量 g
				カルシウム mg	鉄 mg	ビタミンA μg	ビタミンB1 mg	ビタミンB2 mg	ビタミンC mg	ビタミンD μg		
3～5歳	男	1,300	25	600	5.5	450	0.7	0.8	50	3.5	20～30	3.5未満
	女	1,250	25	550	5.5	500	0.7	0.8	50	4.0	20～30	3.5未満
30～49歳	男	2,700	65	750	7.5	900	1.4	1.6	100	8.5	20～30	7.5未満
	女	2,050	50	650	10.5	700	1.1	1.2	100	8.5	20～30	6.5未満

(厚生労働省「日本人の食事摂取基準(2020年版)」2019年)

図5 食事摂取基準(1人1日あたり)

問3 図6は出産・育児休業保障状況の国際比較（日本、フランス、ドイツ、スウェーデン）である。日本に該当するものをA～Dから一つ選び、記号で答えよ。

	A	B	C	D
出産休業	期間：予定日前6週、出産後8週 給付：賃金の100%	期間：出産前後各7週 給付：所得の80%（出産直前の2か月間のうち最高50日間支給）	期間：予定日前6週、出産後10週 第3子以降は延長 給付：賃金の100%	期間：予定日前6週、出産後8週 給付：1日につき標準報酬日額の3分の2
育児休業	期間：子が3歳になるまで最長3年間全日休業、ただし、週30時間を限度として短時間労働も可能。 給付：生後14か月まで、所得の67%。など	期間：生後18か月まで全日休業、8歳に達するまでパートタイム労働可。 給付：合計480日間支給（父親・母親各240日。180日分は受給権の移転可）。390日までは所得の80%。など	期間：子が3歳になるまで最長3年間全日休業またはパートタイム労働のいずれかを選択。 給付：休業中は原則無給（第1子は最長6か月、第2子以降は3歳まで賃金補助）	期間：子が1歳まで。父母が共に取得する場合は1歳2か月まで。保育所に入所できないなどの場合には最長2歳まで延長可能。 給付：180日目までは賃金の67%、以降は賃金の50%

（厚生労働省「2009年～2010年海外情勢報告」、「社会保障入門2009」などにより作成）

図6

問4 次の文は、「こどもの貧困の解消に向けた対策の推進に関する法律の一部を改正する法律（令和6年施行）」の第9条の一部である。□エ～□カにあてはまる語句をA～Fからそれぞれ一つ選び、記号で答えよ。なお、同じ記号には同じ語句が入る。

- 一 こどもの貧困の解消に向けた対策に関する基本的な方針
- 二 こどもの貧困率、□エ世帯の貧困率、□エ世帯の養育費受領率、生活保護世帯に属するこどもの高等学校等進学率、生活保護世帯に属するこどもの大学等進学率等こどもの貧困に関する指標及び当該指標の改善に向けた施策
- 三 □オの支援、生活の安定に資するための支援、□カに対する職業生活の安定と向上に資するための就労の支援、経済的支援その他のこどもの貧困の解消に向けた対策に関する事項

A 発達 B ひとり親 C 教育 D 保護者 E こどもの権利利益 F 核家族

問5 子どもへの虐待について、次の(1)、(2)に答えよ。

(1) 次の表は、「令和5年度 児童相談所における児童虐待相談対応件数」（こども家庭庁）について、心理的虐待、身体的虐待、性的虐待、ネグレクトの虐待別件数の推移をまとめたものである。心理的虐待、身体的虐待に該当するものをA～Dからそれぞれ一つ選び、記号で答えよ。

	A	B	C	D	総数
平成24年度	23,579 (35.4%)	19,250 (28.9%)	1,449 (2.2%)	22,423 (33.6%)	66,701 (100.0%)
平成25年度	24,245 (32.9%)	19,627 (26.6%)	1,582 (2.1%)	28,348 (38.4%)	73,802 (100.0%)
平成26年度	26,181 (29.4%)	22,455 (25.2%)	1,520 (1.7%)	38,775 (43.6%)	88,931 (100.0%)
平成27年度	28,621 (27.7%)	24,444 (23.7%)	1,521 (1.5%)	48,700 (47.2%)	103,286 (100.0%)
平成28年度	31,925 (26.0%)	25,842 (21.1%)	1,622 (1.3%)	63,186 (51.5%)	122,575 (100.0%)
平成29年度	33,223 (24.8%)	26,821 (20.0%)	1,537 (1.1%)	72,197 (54.0%)	133,778 (100.0%)
平成30年度	40,238 (25.2%)	29,479 (18.4%)	1,730 (1.1%)	88,391 (55.3%)	159,838 (100.0%)
令和元年度	49,240 (25.4%)	33,345 (17.2%)	2,077 (1.1%)	109,118 (56.3%)	193,780 (100.0%)
令和2年度	50,035 (24.4%)	31,430 (15.3%)	2,245 (1.1%)	121,334 (59.2%)	205,044 (100.0%)
令和3年度	49,241 (23.7%)	31,448 (15.1%)	2,247 (1.1%)	124,724 (60.1%)	207,660 (100.0%)
令和4年度	49,464 (23.0%)	34,872 (16.2%)	2,393 (1.1%)	128,114 (59.6%)	214,843 (100.0%)
令和5年度	51,623 (22.9%)	36,465 (16.2%)	2,473 (1.1%)	134,948 (59.8%)	225,509 (100.0%)

※割合は四捨五入のため、100%にならない場合がある。

(2) 2004年に3歳と4歳の兄弟が虐待されて死亡した事件をきっかけに始まった、児童虐待防止の意思を示し、市民のネットワークにより虐待のない社会を築くことを目指した運動の名称を答えよ。

第3問題 高齢者および共生社会について、次の問に答えよ。

問1 高齢社会について、次の(1)～(5)に答えよ。

(1) 健康寿命とは何か、簡潔に答えよ。

(2) 図7は、2021年における平均寿命と健康寿命の国際比較（日本、フランス、ドイツ、カナダ、イタリア、イギリス、アメリカ）である。日本に該当するものをA～Gから一つ選び、記号で答えよ。

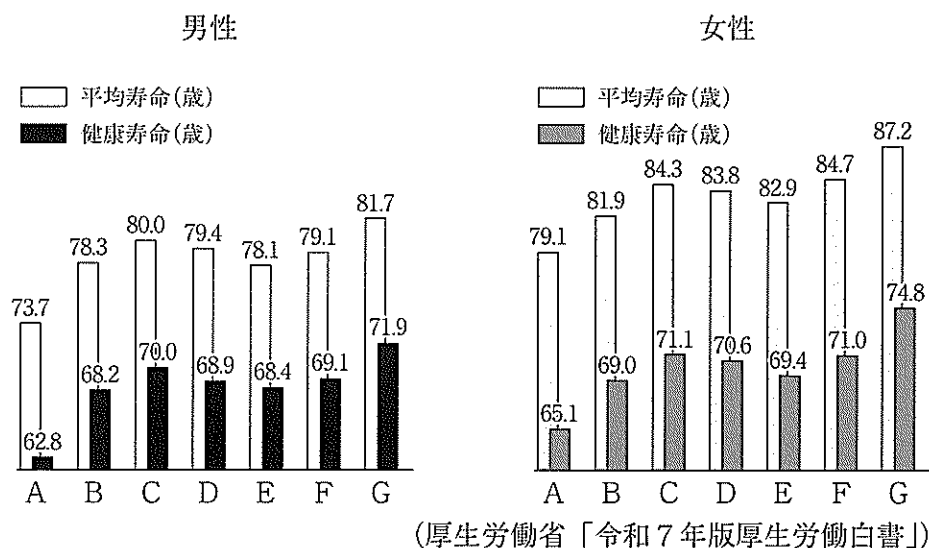


図7

(3) 65歳以上の人口の割合が21%以上を占める社会を何というか、答えよ。

(4) ロコモティブシンドロームとはどのような状態か、簡潔に答えよ。

(5) 家庭内に介護や支援を必要とする家族がいる場合に、家事や身の回りの世話、感情面のサポートといった、本来は大人が担う役割を日常的に果たしている18歳未満の子どもを何というか、答えよ。

問2 福祉について、次の(1)～(3)に答えよ。

(1) 次の文は、年金について述べたものである。□ア～□ウにあてはまる語句をA～Gからそれぞれ一つ選び、記号で答えよ。

年金制度には、高齢者を対象とする□ア年金のほか、病気や怪我によって生活や就労が困難になった場合に支給される□イ年金、生計を支えていた者が死亡した際にその遺族に支給される遺族年金がある。年金の保険料の納付は20歳から義務付けられており、年金を受給するには、原則として10年以上の□ウ期間を満たしている必要がある。

- A 雇用 B 就労 C 障害 D 老齢 E 生活保護 F 失業 G 年金加入

(2) ユニバーサルデザインとはどのようなものか、簡潔に答えよ。

(3) 次の文は、ボランティア活動について述べたものである。[エ]、[オ]にあてはまる語句を答えよ。なお、同じ記号には同じ語句が入る。

ボランティア活動は、[エ]性、社会性・公益性、無償性といった特徴があるが、中でも[エ]性は最も重要な要素とされている。活動形態には、個人で行うもののほか、組織的な取り組みとして、国際的な課題に取り組む非政府組織や、地域社会における福祉・教育・環境保全といった分野で活動する[オ]がある。

第4問題 食生活について、次の問に答えよ。

問1 食生活の変化と課題について、次の(1)～(5)に答えよ。

(1) 図8は供給熱量の内訳の推移である。[ア]～[ウ]にあてはまる語句をA～Cからそれぞれ一つ選び、記号で答えよ。

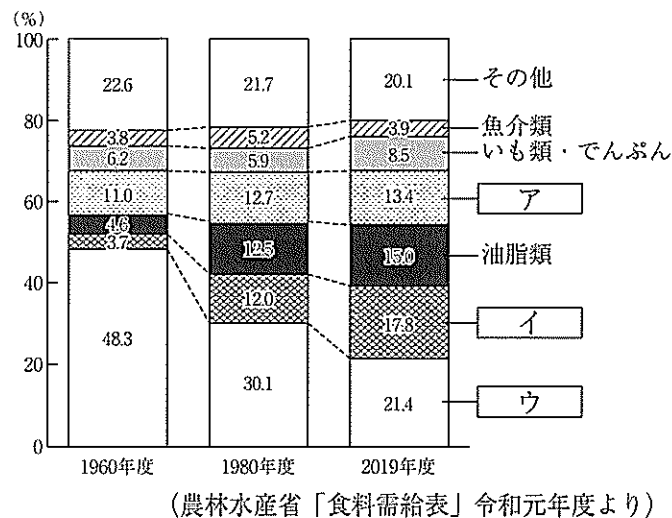


図8

- A 米 B 小麦 C 畜産物

(2) 図8の1960年度と2019年度を比較し、日本人の食生活の変化の原因を簡潔に答えよ。

(3) 中食の問題点を簡潔に説明せよ。

(4) 18歳以上で、身長163cm、体重60kgの人のBMI値を計算し、小数第2位を四捨五入した値を答えよ。

(5) BMI値が「普通」の状態について、下限の数値と上限の数値をA～Eからそれぞれ一つ選び、記号で答えよ。

- A 15 B 18.5 C 22 D 25 E 28.5

問2 鶏卵の性質と加工について、次の(1)～(5)に答えよ。

(1) 図9は卵黄、図10は卵白の栄養を示している。[エ]に共通する栄養素名を答えよ。

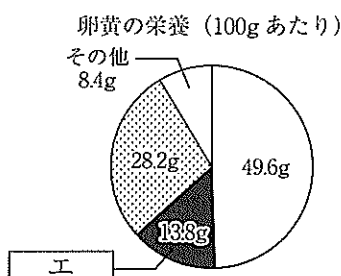


図9

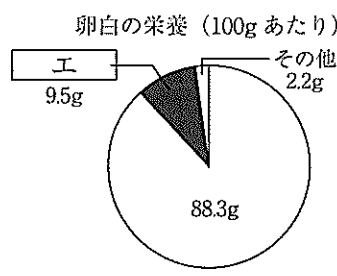


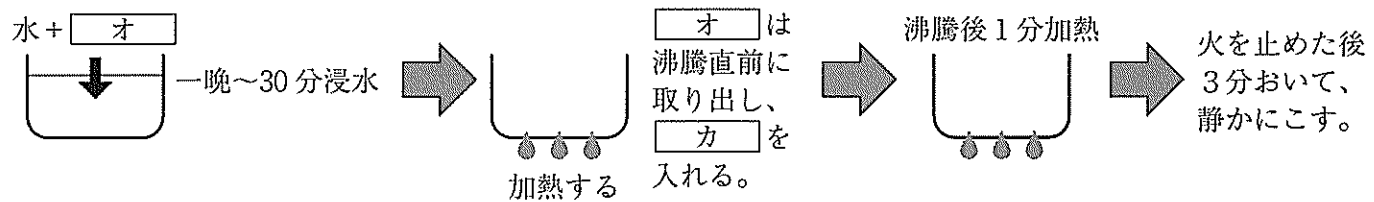
図10

(文部科学省「日本食品標準成分表2020年版(八訂)」より)

- (2) 鶏卵に含まれるリン脂質の名称を答えよ。
- (3) リン脂質の調理上の性質を、調理例を挙げて簡潔に答えよ。
- (4) 鶏卵と食パンと一緒に食べるなど、食品の組み合わせによってアミノ酸価が改善されることを何というか、答えよ。
- (5) 温泉卵は、鶏卵のどのような熱凝固の性質を利用して作られているか、簡潔に答えよ。

問3 だしの取り方について、次の(1)、(2)に答えよ。

- (1) 混合だしのとり方について、オカに当てはまる語句の組み合わせとして適切なものをA～Fから一つ選び、記号で答えよ。



- | | | | | | | | | | |
|---|---|-----|---|------|---|---|------|---|------|
| A | オ | 煮干し | カ | かつお節 | B | オ | こんぶ | カ | かつお節 |
| C | オ | 煮干し | カ | こんぶ | D | オ | かつお節 | カ | こんぶ |
| E | オ | こんぶ | カ | 煮干し | F | オ | かつお節 | カ | 煮干し |

- (2) こんぶ、かつお節に含まれるうまみ成分を、それぞれ答えよ。

問4 米のトレーサビリティ法とはどのようなものか、簡潔に説明せよ。

第5問題 衣生活について、次の問に答えよ。

- 問1 次の文は、衣服の社会生活上の機能について述べたものである。アイウに当てはまる語句を答えよ。

衣服には社会生活上の機能があり、次の3つに分類される。1つ目は、「アの表示」としての機能で、制服や仕事着など、どの集団に属しているかを示し、集団の一員としての意識や連帯感を高める働きをする。2つ目は、「イへの順応」で、冠婚葬祭などの儀式や行事で、その場にふさわしい服装をすることで、喜びや悲しみといった気持ちを表現し、相手に対して敬意や礼儀を表す。3つ目は、「ウの表現」としての機能で、自分の好みや美的感覚、価値観などを自由に表すことができ、自分らしさを伝える手段となる。

問2 衣服の素材について、次の(1)、(2)に答えよ。

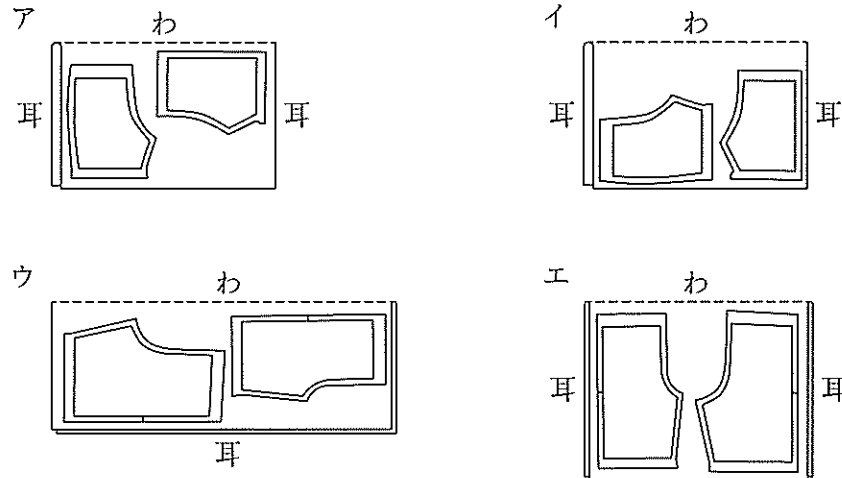
- (1) 次の文は、繊維の特徴について述べたものである。エオカに当てはまる語句を答えよ。

植物繊維であるエは、亜麻ちよまや苧麻から作られ、水や湿気をよく吸って涼感があるが、乾きにくく、しわになりやすい。石油から作られる合成繊維の一つであるオは、水着やガードルに使用され、伸縮性に富むが、アルカリに弱い特徴をもつ。再生繊維であるキュプラの原料はカで、絹に似た光沢があり、裏地やブラウスに使用される。

- (2) とうもろこしを原料として作られた繊維で、ポリエステルなどと同じように加工しやすく、十分な強度をもちながら、使用後廃棄となっても、水や土の中にいる微生物によって分解され、最終的には二酸化炭素と水に分解されるという特徴をもつ環境にやさしい繊維を何というか、答えよ。

問3 ハーフパンツの製作について、次の(1)～(3)に答えよ。

(1) 平織の無地の生地を使用する際の型紙の配置について、適切なものをア～エからすべて選び、記号で答えよ。



(2) 2枚の布を内側が表になるように合わせることを何というか、答えよ。

(3) 図11の縫い代の始末の名称を答えよ。

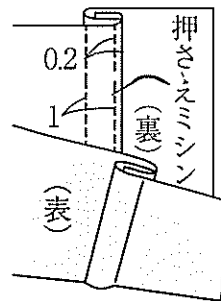


図11

問4 持続可能な衣生活について、次の(1)、(2)に答えよ。

(1) 繊維製品のリサイクル方法であるマテリアルリサイクルとは何か、例を挙げて簡潔に説明せよ。

(2) ファストファッションについて、次の①、②に答えよ。

① ファストファッションとはどのようなことか、簡潔に説明せよ。

② ファストファッションの背景にある社会問題を、環境と人権の観点から簡潔に説明せよ。

第6問題 住生活について、次の問に答えよ。

問1 建築基準法で建ぺい率の制限内で建築する理由を、「安全性」と「快適性」の観点から、それぞれ答えよ。

問2 世界の住居とその説明の組み合わせとして適切なものをA～Gから一つ選び、記号で答えよ。



- a 木造の住居で、地表からの湿気や熱を防ぎ、風通しのよい構造である。
- b 黒やぎの毛織物を木やロープで固定した住居である。
- c 厚い土の壁と閉鎖的な構造で、暑さと砂ほこりを防ぐ。
- d 解体や持ち運び、組み立てが容易で、遊牧に適する。
- e 石材が豊富な地域の住居で、窓や開口部が狭く、閉鎖的な構造である。

A ア・b B エ・e C イ・e D オ・d E ウ・a F エ・c G オ・c

問3 持続可能な住まいについて、次の(1)、(2)に答えよ。

(1) エネルギー自給型住宅として、住宅の断熱性能を高め、省エネ機器を導入してエネルギーの使用量を減らし、さらに太陽光発電などでエネルギーをつくることで、年間のエネルギー消費量の収支をゼロ以下にすることを目指した住宅を何というか、答えよ。

(2) リフォームとリノベーションの違いをわかりやすく簡潔に説明せよ。

第7問題 消費生活について、次の問に答えよ。

問1 消費生活について、次の(1)、(2)に答えよ。

(1) 次の文は、支出や収入について述べたものである。□ア～□ウにあてはまる語句を答えよ。

支出には、大きく分けて2つの種類がある。1つ目は、食料費や住居費など日々の生活に使われる□アである。2つ目は、所得税や住民税などの□イや年金・健康保険などの社会保険料といった公的機関に納められる義務的な支出である。また、収入からこれらの公的機関に納められる義務的な支出を差し引いた額を□ウといい、実際に自由に使うことができる収入になる。

(2) 18歳(成人)になると親の同意なしで一人のできるようになることを、A～Eからすべて選び、記号で答えよ。

- A 住宅ローンを組んで、住宅を購入する。
- B 国民年金に加入する。
- C 消費者金融を利用する。
- D クレジットカードをつくる。
- E 大型車両免許を取得する。

問2 環境について、次の(1)～(4)に答えよ。

(1) 次の文は、環境型社会について述べたものである。[エ]～[カ]にあてはまる語句をA～Eからそれぞれ一つ選び、記号で答えよ。

循環型社会形成推進基本法では、資源を再利用する前に、廃棄物の発生を抑える[エ]や、繰り返し使う[オ]を優先する3Rの考え方が示されている。さらに、レジ袋などの不要なものを断る[カ]や、修理して長く使うことを加えた5Rの実践が重要とされている。

A リデュース B リペア C リサイクル D リフューズ E リユース

(2) 個別リサイクル法のうち、小型家電リサイクル法の対象になるものをA～Eからすべて選び、記号で答えよ。

A テレビ B 電源アダプタ C ゲーム機 D 冷蔵庫 E パソコン

(3) 食品ロスとは何か、簡潔に説明せよ。

(4) フード・マイレージとは何か、簡潔に説明せよ。